

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業実施報告書（平成28年度）

（研究指定校用）

研究指定校名	北海道寿都高等学校	寿都町立寿都中学校	寿都町立寿都小学校 寿都町立潮路小学校
---------------	-----------	-----------	------------------------

1 研究テーマ

小中高連携の深化によるキャリア教育の充実
～自然エネルギーなどの資源の活用により地域の活性化を担う人材の育成～

2 研究の目的

寿都町のよさや魅力を理解させるとともに、生徒一人一人の進路希望を実現できるよう小中高の一貫したキャリア教育をより一層充実させる。

3 全研究指定校共通の効果測定

1 学校対象（校長）の回答項目

(1) 小中高の情報共有の状況について

小学校	小中高連携推進委員会全体会キャリア部会において情報共有が行われている。
中学校	町内の小中高キャリア教育部会が定期的に行われ、各校種で情報を共有している。
高校	寿都町小中高連携推進委員会全体会及びふるさとキャリア部会等により情報を共有している。また、町内校長会や教頭会においても情報共有が行われている。

(2) 発達段階に応じて身に付ける能力等の目標設定について

小学校	総合的な学習の時間に評価規準を明記している。小中高での活動一覧を作成し、各段階での取組を把握し、小学校段階で身に付けさせるべき資質と能力を系統的に設定できている。
中学校	キャリア教育の全体計画に位置付けており、総合的な学習の時間や各教科の中で関連させて指導している。
高校	各学年における取組ごとに身に付ける能力等を設定している。

(3) 発達段階に応じて身に付ける能力等の定着度合いについて

小学校	キャリア教育の視点で話を聞いたり考えたりはしているが、自分から新たに職業を調べたり、興味・関心を持って行動したりすることができていない。
中学校	主体性を重視した指導の成果が生徒の変容として出てきている。
高校	主体性は身に付いてきているが、まだ、不十分である。

2 PTA 役員を含む保護者、学校評議員等の学校関係者対象の回答項目

(1) 学校との情報共有の状況について

小学校	・年3回のCS会議で情報共有している。（潮路小） ・年4回のCS定例会議、年5回のPTA役員会で情報共有している。（寿都小）
中学校	年4回のCS定例会議等で情報共有している。
高校	年3回のPTA役員会等で情報共有している。

(2) 地域の教育資源を学校のキャリア教育に活用する状況について

小学校	学校からの依頼があれば活用できる体制になっている。
中学校	地域や学校、どちらからの依頼や提案に対しても検討できる体制にある。
高校	学校からの依頼があれば活用できる体制になっている。

3 児童生徒（小中学生）対象の回答項目

【項目 1】ふるさとへの理解と愛着について

小学校	海産物やニシン、「寿かき」などの水産物について、実際に漁業体験しながら学ぶことで、理解を深めることができた。 【特に印象に残った体験活動：寿都神社例大祭】
中学校	海産物や景観など寿都町の魅力について調べたり、発表したりすることで、ふるさとの良さを再確認できた。 【特に印象に残った体験活動：寿都神社例大祭】

【項目 2】ふるさとの生活に関する興味・関心について

小学校	風力発電や漁業などについて、自分で調べることができたので、さらに興味を持つようになった。
中学校	寿都神社例大祭や町内行事、風力発電の仕組みなど、町の方々からもっと話を聞くなどして、更に詳しく調べていきたい。

4 生徒（高校生）対象の回答項目

【項目 1】ふるさとへの理解と愛着について

高校	風の利用や漁業、歴史などについて学ぶことで、寿都町の特徴を理解することができた。 【特に印象に残った体験活動：寿都神社例大祭】
----	--

【項目 2】ふるさとの生活に関する興味・関心について

高校	清掃活動や除雪等のボランティア活動を通して、町の方々が丁寧に接していただき、人と関わる大切さが分かった。
----	--

【項目 3】ふるさとで生活を営むことへの興味・関心について

高校	寿都町内で就職したいと思うが、働く場所や希望する職業があるのか心配である。 【特に印象に残った体験活動：インターンシップ】
----	--

4 具体的な研究活動

項目	取組	取り組んだ内容等の説明
全体	① 全体計画の見直し	・寿都町小中高連携推進委員会の中にふるさとキャリア部会を設置し、この部会を中心に取組を進めた。委員会の全体会議の日程調整が難しくなっていることから、平成28年度末の時点で平成29年度の全体会の日程を調整している。
	② キャリアノートの使用や改善点など	・児童生徒の発達段階に応じた振り返りシートを用意し、取組ごとに児童生徒に記入させ、ファイルに保存させた。 ・小学校から中学校、中学校から高等学校への引継ぎが円滑に行えるように努めなければならない。

地域 ダイスキ！ プロジェクト	③地域の特性や教育資源を生かした取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月24日 全町民海岸クリーン作戦 町民ボランティアによる「全町民海岸クリーン作戦」に参加した。(対象：高40、中35、小50) ・ 6月15日、20日（2日間） かき漁業体験 地元企業（佐藤漁業・小西漁業）の協力を得て、かき漁業体験を実施した。(対象：潮路小17) ・ 8月24日 漁業体験 地元企業（小西漁業）の協力を得て、漁業体験を実施した。 (対象：寿都小11) ・ 7月5日 職場体験 地元企業の協力を得て、町内での職場体験を実施した。 (対象：中26) ・ 10月12日、13日（2日間） インターンシップ 地元企業、寿都町役場等の協力を得て、インターンシップを実施した。(対象：高28)
	④講演会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月27日 寿都町内で働く同窓生による講演「社会人講話」を実施した。 (対象：高1年29) ・ 12月16日 小中高合同キャリア教育発表会において、寿都町長の講演を実施した。(対象：高57、中75、小36、学校関係者35)
子ども ダイスキ！ プロジェクト	⑤座談会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月19日、23日（2日間） 寿都町在住の母子19組、寿都町役場保健師の協力を得て、「赤ちゃんふれあい教室」を実施した。 (対象：高25、参加：母子44、保健師3)
	⑥出前授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月17日 知事部局が主催する出前授業「次世代の親づくり講座」を実施した。(対象：高57)
	⑦家庭科副読本を活用した授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月21日 3月中(予定) 2日間 少子化問題への理解を深めるとともに、自身のライフデザインを考えるため「少子高齢化社会におけるキャリアプランニング」を実施した。(対象：高28)
その他	⑧その他、本事業に関連する活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月16日 寿都町文化センターにおいて、今年度の各校種ごとのキャリア教育の児童生徒による「寿都町小中高合同キャリア教育発表会」を実施した。 (対象：高57、中75、小36、学校関係者35、保護者等6)

5 研究の結果と今後の取組

(1) 研究の結果

- 児童生徒の発達段階に応じて、興味を持った仕事について深く探究させるとともに、ふるさとへの理解を深めることができた。
- 児童生徒が寿都の魅力について探究し、ふるさとの魅力を再認識したり、その魅力を発信する力を養ったりすることで、郷土愛を深めることができた。
- 様々な取組を通して、地域との連携を深めるとともに、キャリアノートを児童生徒の発達段階に応じた内容に改善し活用することができた。
- 校種ごとの情報共有や連携は行われているが、小中高一貫してのキャリア教育の在り方や育てたい人物像などについて、共通の認識を持つよう検討する必要がある。
- 小中高を貫く体系的なキャリア教育を実現し、事業終了後も持続可能な取組にする必要がある。
- キャリア教育について、地域と一体となり理解を深めるとともに、風力発電の仕組みの学習の充実等に向け、町や企業等との連携の在り方について検討する必要がある。

(2) 今後の取組

- 小中高を通じた系統的なキャリア教育はどうあるべきか、寿都町小中高連携委員会ふるさとキャリア部会を中心として継続的に検討していく。
- キャリアノートの更なる活用等、指定校が共通認識のもと、それぞれの取組を実践していくことができるよう検討していく。
- これまで実施した取組の改善に向け、他管内の事例等を参考にし、児童生徒の主体的な取組となるよう検討していく。

6 活動の記録

[インターンシップ]



[寿都漁業協同組合]

[実施日]

10月12日、13日

[実施時間]

終日

[実施場所]

町内各事業所

[運営者又は講師等]

寿都高校

[協力先、連携先等]

寿都町役場、町内各事業所

[参加者]

寿都高校2年生

[実施内容]

寿都町役場や町内各事業所の協力を得て、インターンシップを実施した。

[実施後の児童生徒の変容]

インターンシップの活動を通して、町内の産業等について関心が高まるとともに、進路選択をより真剣に考えるようになった。

[その他]

[漁業体験]



[寿都小6年 漁業体験]

[実施日]

8月24日

[実施時間]

終日

[実施場所]

有戸漁港等

[運営者又は講師等]

寿都小学校

[協力先、連携先等]

(有)マルホン小西漁業

[参加者]

寿都小学校6年生

[実施内容]

(有)マルホン小西漁業の協力を得て、寿都小学校6年生の漁船乗船をはじめとする漁業体験を実施した。

[実施後の児童生徒の変容]

漁業体験を通して、漁業に対する興味・関心が高まった。

[その他]

[農業体験（ハロウィンカボチャづくり・受粉）]



[潮路小3, 4年 農業体験]

[実施日]

7月12日

[実施時間]

終日

[実施場所]

寿都町湯別

[運営者又は講師等]

潮路小学校

[協力先、連携先等]

湯別町農家

[参加者]

潮路小学校3、4年生

[実施内容]

湯別町農家の協力を得て、ハロウィンカボチャづくり及び受粉作業を行った。

[実施後の児童生徒の変容]

寿都町の産業は漁業だけではないことを理解することができ、より広い視野を持つようになった。

[その他]